

企業概要



- 社名 : 江州計器工業株式会社
- 代表者 : 山元 智寛
- 設立年月日 : 1948年6月22日（創業より78年）
- 資本金 : 4,000万円
- 本社所在地 : 滋賀県大津市秋葉台9-18
- 従業員 : 19人（令和8年9月現在）
- URL : <https://www.gohshukeiki.co.jp/aboutus/outline>
- 事業内容 : プラスチック射出成形による三角スケール、アクリルスケール（製図用）の生産。および、板材加工からのNC機によるテンプレート、定規、アクリル加工品（パンフレットスタンド等）の生産。

スタートアップ企業の皆様へ

スタートアップ企業への一言



企業名：江州計器工業株式会社
役職：代表取締役
氏名：山元 智寛

江州計器工業は、創業以来78年にわたり、三角スケールや各種定規をはじめとする、精密さが求められる製品づくりに真摯に向き合ってきました。そこで磨き続けてきたプラスチック成形・切削加工の技術に加え、ラボでの試作から、組立、塗装、仕上げまで、製品化に必要な工程をワンストップで担えることが私たちの強みです。

スタートアップの皆様が生み出す自由で斬新な発想には、社会や産業を変える大きな可能性があります。しかし、優れたアイデアを実際の製品へと形にするには、設計、素材選定、試作、量産化など、幾つもの壁があります。私たちは単なる加工会社ではなく、構想段階から共に考え、試し、改善を重ねる「ものづくりの伴走者」でありたいと考えています。

私たち自身も、78年の歴史を守るだけでなく、培ってきた技術の新たな可能性を切り拓きたい。皆様の「つくりたい」を、世の中に届く確かな製品へ。互いの強みを掛け合わせ、滋賀からまだ世の中にない価値を一緒に生み出しましょう。

共創テーマ

以下に掲げるテーマで共創パートナーを募集しています

共創テーマ：①プラスチック成形・切削加工技術を活用した新製品開発 ②製造工程における暗黙知の可視化を通じた技術承継

- 弊社は創業より78年にわたり、三角スケールや各種定規をはじめとする、精密さが求められる製品づくりを実現する技術力を培ってきました。
- 一方、少子化の影響により主力商材である三角スケールや各種定規の市場が縮小傾向にあり、新たな業種業界への進出や新製品の開発を進める必要があります。
- また、精密さが求められる製品づくりを実現し続けるために必要な、熟練工が持つノウハウの承継が進んでおらず、製造工程における熟練工のもつ暗黙知の可視化を進める必要があります。
- 精密な製品づくりを実現する当社の技術を活用した製品開発を通じた価値提供や、製造業界の共通課題である技術承継に対する課題解決を目指していきたいと考えています。

【共創案の一例】

- ① 精密なプラスチック成形・切削加工技術を活用した新製品開発への共創
(ex：アニメ業界→アクリルスタンド、ペット業界→給餌台、文具→スマホスタンド等の卓上製品 ...等)
- ② 製造工程における熟練工が持つ暗黙知の可視化を通じた技術承継への共創
(ex：動画を用いた製造工程の可視化 ...等)

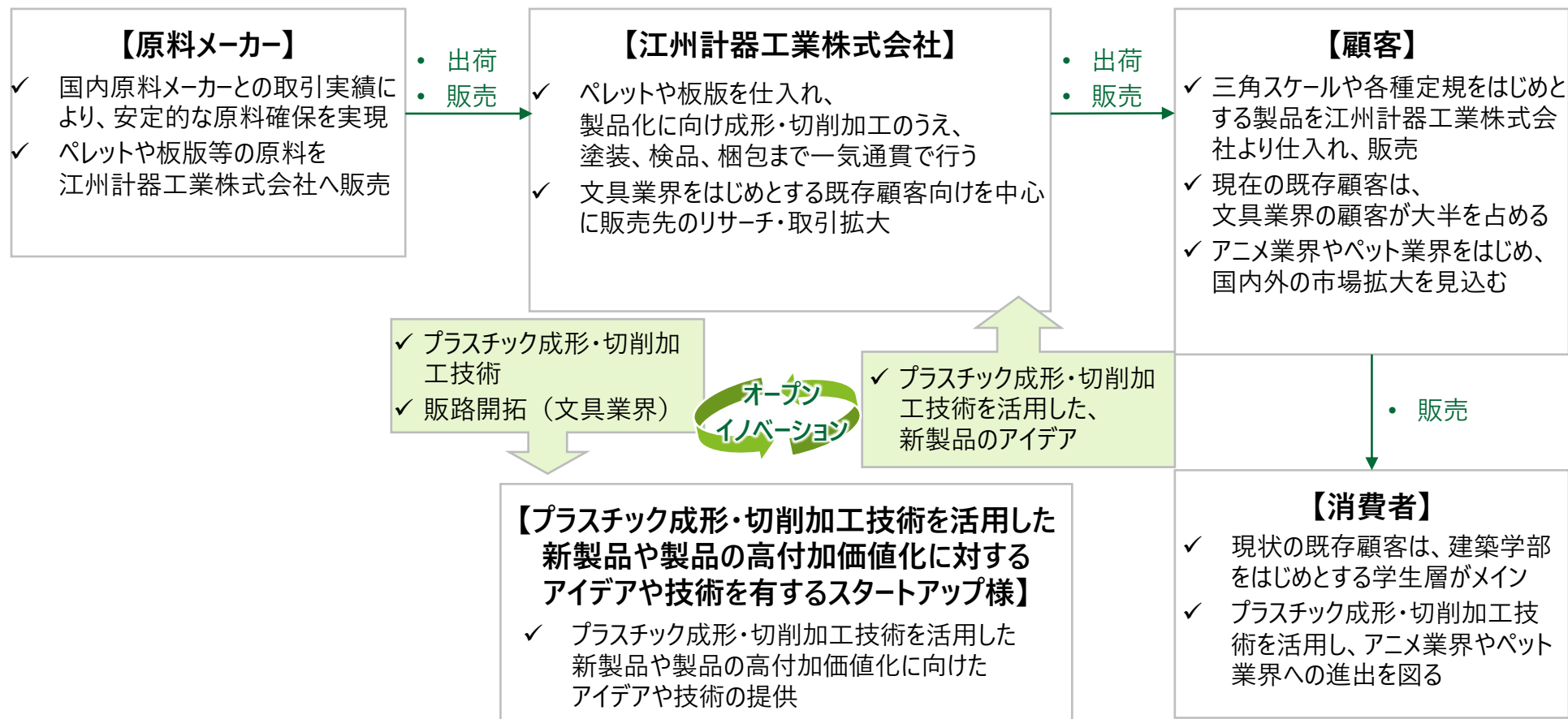
以下のモデルでスタートアップ企業様との共創を実現していきたいです

共創テーマ：

①プラスチック成形・切削加工技術を活用した新製品開発

※下記の共創モデルはたたき案です。

実現可能な共創モデルについてはスタートアップ企業様とのディスカッションを通して、決定していく方針です。



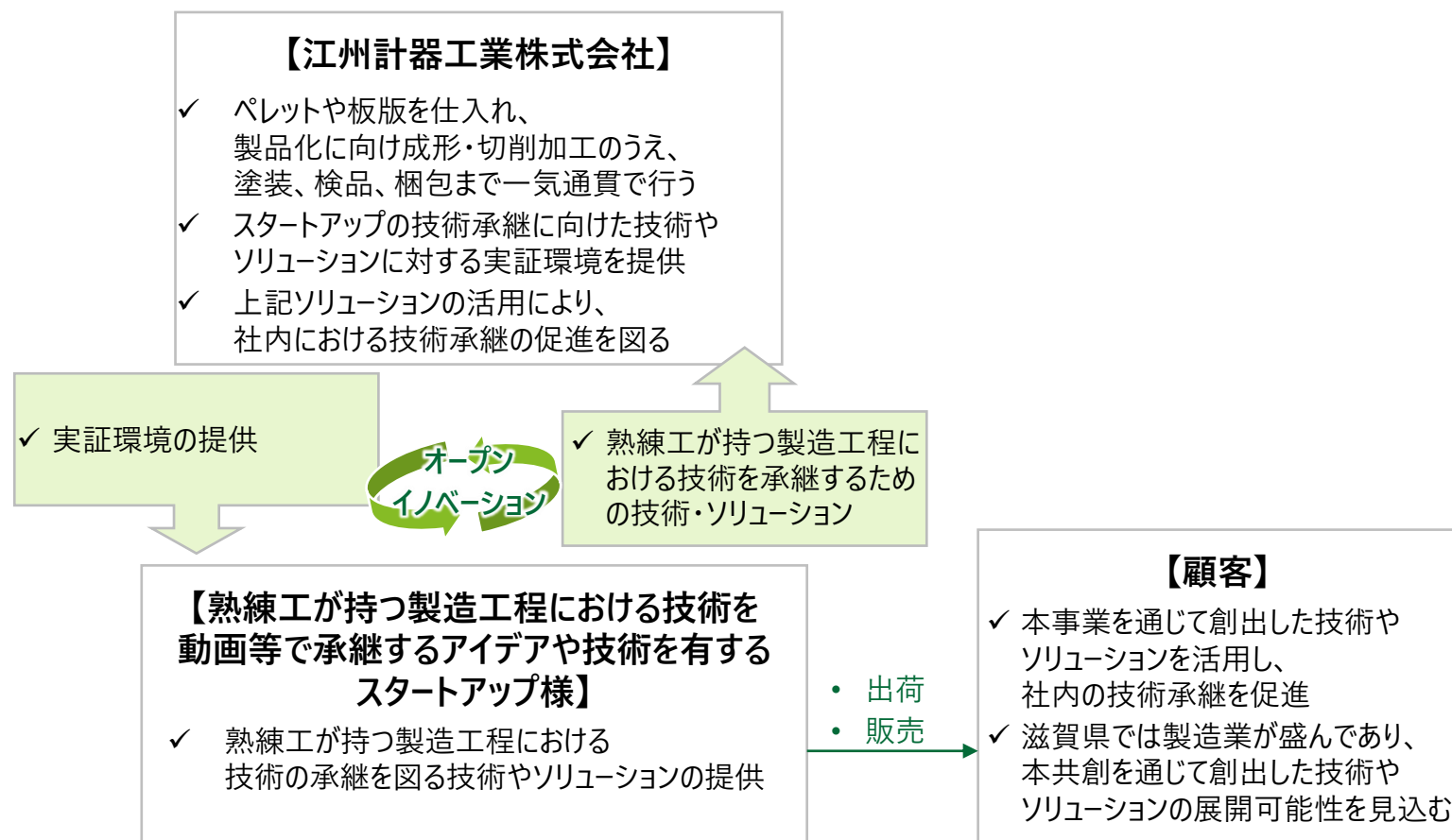
以下のモデルでスタートアップ企業様との共創を実現していきたいです

共創テーマ：

②製造工程における暗黙知の可視化を通じた技術承継

※下記の共創モデルはたたき案です。

実現可能な共創モデルについてはスタートアップ企業様とのディスカッションを通して、決定していく方針です。



スタートアップ企業様には以下の要素を求めています

弊社のプラスチック成形・切削加工技術を活用した、革新的なプラスチック製品の共同開発や、熟練工の持つ技術承継に対する共創ができるスタートアップを求めています

プロダクト・技術

【プラスチック成形・切削加工技術を活用した新製品開発】

- ✓ プラスチックを活用した新製品のアイデアを有する企業
- ✓ プラスチック加工製品と掛け合わせることで付加価値を向上させるアイデアや技術を有する企業

【製造工程における暗黙知の可視化を通じた技術承継】

- ✓ 熟練工が持つノウハウや製造工程を動画等を用いて、可視化することができるアイデアや技術を有する企業
- ✓ 熟練工が持つノウハウや技術を標準化し、作業効率の平準化を実現するアイデアや技術を有する企業

〈キーワード〉

- ✓ プラスチック製品、プラスチック成形・切削加工
- ✓ 技術承継、暗黙知の可視化

その他

【プラスチック成形・切削加工技術を活用した新製品開発】

- ✓ プラスチックを活用した新製品の基盤となる権利を使用できる企業（キャラクターや絵画などの著作権等）
- ✓ プラスチック製品の付加価値を向上させることができるアイデアや技術の提供が可能な企業

【製造工程における暗黙知の可視化を通じた技術承継】

- ✓ 熟練工が持つノウハウや製造工程を可視化するソリューションの共同開発や導入支援、アフターフォローが可能な企業

アセット

共創にあたり提供可能な弊社のアセットは以下の通りです



< 以下、詳細ならびに上記以外の保有アセット >

アセット・強み	詳細
■ プラスチック精密加工技術	- 三角スケールや各種定規をはじめとする精密さを求められる製品の製造により培った、精密なプラスチック成形・切削加工技術 - 精密なプラスチック成形・切削加工技術を有する熟練工が在籍
■ プラスチック成形・切削加工機器	- 射出成型機 4台 - 複合加工機 - 樹脂製品切断機 ...等 (上記他の成形・切削加工機器等は当社HPに掲載あり) リンク：https://www.gohshukeiki.co.jp/equipment
■ 文具業界への販売ネットワーク	- 大手文具業界への販売ネットワーク - 主要製品である三角スケールは国内シェア7～80%を誇る
■ JPR取得（日本プラスチック定規性能マーク）	精密な製品開発が求められる定規における高精度の加工技術を保有

スケジュール

共創スケジュール案は以下の通りです

※下記スケジュールはたたき案です。
スケジュールに関しては、共創の実現可能なスケジュールをスタートアップ企業様とのディスカッションを通して決定していく方針です。

共創テーマ：

①プラスチック成形・切削加工技術を活用した新製品開発

Timeline

	2026年		2027年		本プロジェクト以降
	11月	12月	1月	2月	
計画・要件定義					
ニーズ調査					
試作品開発					
量産可能性の検証					
製品化					
量産体制の構築					

共創スケジュール案は以下の通りです

※下記スケジュールはたたき案です。
スケジュールに関しては、共創の実現可能なスケジュールをスタートアップ企業様とのディスカッションを通して決定していく方針です。

共創テーマ：
②製造工程における暗黙知の可視化を通じた技術承継

Timeline

	2026年		2027年		本プロジェクト以降
	11月	12月	1月	2月	
計画・要件定義					
PoC					
試験導入					
現場導入					

応募要領

本プログラムの応募要領については、以下をご確認ください

応募要領一覧

応募資格

- ① 法人登記がされており、県内企業3社いずれかの共創テーマ（※1）を実現するための具体的なプロダクトや技術などを有している全国のスタートアップ
- ② 本事業を通じて滋賀県内での事業展開に意欲があるスタートアップ

マッチング基準

ご提出いただいた応募書類や添付資料、マッチング面談を通じて、各県内企業が検討している新規事業に適したスタートアップかを検討の上、県内企業毎に最低1社以上のスタートアップとのマッチングを予定しています。

マッチングスケジュール

募集開始	令和8年9月14日(月)
募集締切	10月23日(金) 13時まで
マッチング面談依頼通知	～10月28日(水) ※1
共創アイデア資料の提出期限	10月23日(金) 13時まで
マッチング面談※2	
第1回目枠	11月4日(水) 9:00-12:00
第2回目枠	11月9日(月) 13:00-16:00
マッチング結果通知	～2026年11月20日(金)
※1： 応募いただいたスタートアップのうち、マッチング面談に進んでいただくスタートアップは3社程度とします。	
※2： スタートアップ1社あたり60分程度のオンライン（Teams会議）でのマッチング面談を上限2回までとして予定しております。 マッチング面談に関する時間等の詳細は、マッチング面談依頼通知（～10月28日）の際にお知らせします。	